NIMDニュース

リハビリテーション技術・介助技術講習会を開催！

令和４年10月22日にリハビリテーション技術講習会、令和４年12月10日に介助技術講習会を開催しました。今年度の講習会は、対面（水俣病情報センター講堂）とYouTubeによるライブ配信で実施しました。ライブ配信による講習会は初めての試みでしたが、これまで参加が難しかった遠方からの参加もあり、大変好評でした。

リハビリテーション技術講習会、介助技術講習会の模様を動画で配信してます。

リハビリテーション技術講習会

介助技術講習会

国水研の動き　令和４年８月～令和５年１月

8/2	水俣市校長会研修受入れ
8/3	水俣環境アカデミア研修受入れ
8/4	水俣芦北地域理科教師研修受入れ
8/24	横浜国立大学等研修受入れ
9/6	さくらオンラインプログラム（台湾） 水俣研修受入れ
10/18	さくらオンラインプログラム（タイ） 水俣研修受入れ
10/22	第12回リハビリテーション技術講習会開催
11/9	水俣病情報センター企画展 「NIMDの地域・国際貢献―世界唯一の 水俣病と水銀の研究機関として―」開催
11/17	感染症対策勉強会
11/22	企画展VR撮影、VR公開
11/29-30	NIMDフォーラム2022開催
12/2	水俣病情報センター屋上にエコパーク水俣の 成り立ちを開設するパネル等を新設
12/9	日越大学公共政策修士プログラム インターンシップ受入れ
12/10	第13回介助技術講習会開催
12/16	メチル水銀中毒の客観的評価法の確立を 目的とした研究成果の整理報告会開催
12/20	BLS（救急）講習会

国立水俣病総合研究センター（NIMD）のロゴマークについて

「水」の字をもとに、水俣の川と海をイメージし、また左側は「大人」、右側は「胎児」と水俣病で犠牲になった方々をも表しています。環境汚染による被害が二度と発生しないよう思いを込めて、「本来あるべき美しい自然の色」である水色や緑色で表現しました。

NIMD　National Institute for Minamata Disease

- みなくるバス
  青バス湯の児線 とんとん峠下車 700m（徒歩約12分）
- JR 新水俣駅から5.5km
- 肥薩おれんじ鉄道 水俣駅から4.6km

facebookでも情報発信しています！

NIMD PLUS YOU　ニムド プラス ユー　No.54（2023.3）

編集・発行　環境省国立水俣病総合研究センター
〒867-0008 熊本県水俣市浜 4058-18
TEL 0966-63-3111　FAX 0966-61-1145　ホームページ http://nimd.env.go.jp

NIMD PLUS YOU

環境省 国立水俣病総合研究センター 広報誌　ニムド プラス ユー

研究室の紹介

所長特任補佐

環境・保健研究部

環境保健研究室

トピックス

NIMDフォーラム2022
ホームページ
全面リニューアルの
お知らせ

No. 54

令和5年（2023年）3月発行

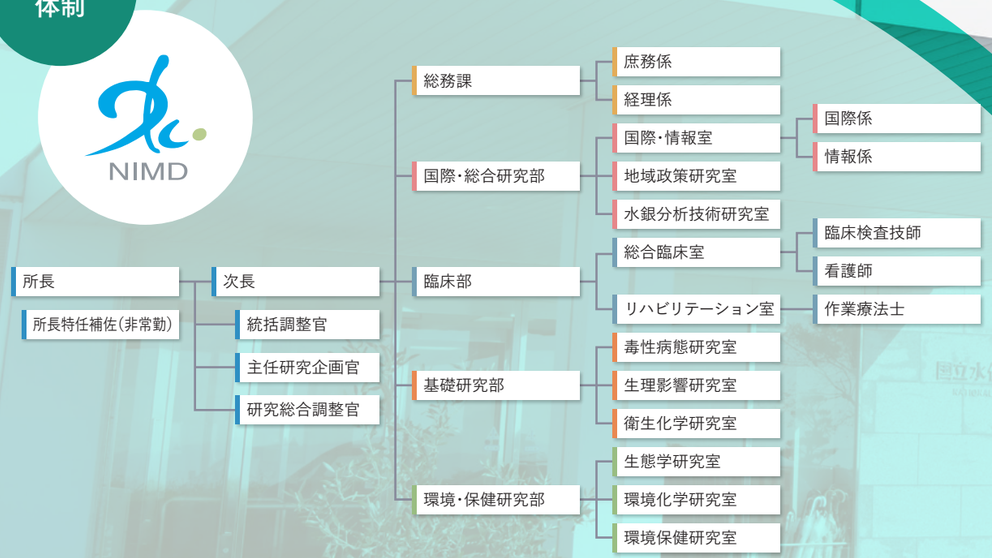
http://nimd.env.go.jp

はじめに

「NIMD+YOU」を手に取っていただきありがとうございます。
「NIMD+YOU」は、環境省国立水俣病総合研究センターの日々の活動や研究成果を、
できるだけ分かりやすくお伝えすることを目的に平成26年に創刊しました。
前号よりデザインをリニューアルし、皆様により伝わりやすい
誌面づくりを心掛けお届けしています。
今号では、昨年10月より新たに仲間に加わった特別研究員の
丸尾さんの紹介をします。
そして、所長特任補佐（坂本研究員）と環境保健研究室長（寳來（ほうらい）研究員）の研究に
ついて、日々の取り組みや成果についても紹介します。
また、NIMDトピックスでは、NIMDフォーラムの様子や公式ホームページの
リニューアルに関するお知らせについて掲載しております。
今後も皆様のご意見などをお伺いしながら
内容を充実させ、情報発信を行っていきたいと思います。
引き続き、ご支援をよろしくお願いします。

NIMD PLUS +YOU

組織体制



国水研がさらに身近に

公式 facebook アカウント

国水研公式facebookでは、公式ホームページだけでは知ることのできない情報などを、随時発信しています。水俣の山の上に建つ研究所、国水研。あの白い建物では何をやっているのだろう？その疑問の答えがここにあります。

国水研のお仕事

国水研ってどんなことをしているの？仕事の裏側と職員のプライベートも覗けるかも！？

地域とのつながり

社会福祉協議会と連携した手工芸教室や楽しい健康体操教室にあなたも参加してみませんか？

イベント情報

世界の研究者が集うNIMDフォーラムやリハビリテーション技術講習会など、各種イベントの模様を紹介。

オープンラボ

国水研を知っていただくために、普段入ることのできない研究施設を特別に開放するオープンラボを年に一度開催中！

水俣病情報センター

国水研付属展示施設の特別展やVRに関するとっておきの情報もfacebookから。

フォローはこちらから ▶
こちらのQRコードを読み込んでください。

新入職員紹介

環境・保健研究部 環境化学研究室 特別研究員　丸尾 裕一

10月より国立水俣病総合研究センターの環境化学研究室に特別研究員として入室しました、丸尾です。専門は土壌物理学で、環境中における物質移動の測定、モデル化に興味があります。本センターでは、水俣病の原因物質である水銀の大気と土壌、海洋間の移動を調査します。環境中の水銀の効果的な削減方法を考える一助となるよう、邁進する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。
趣味はドライブです！九州の自然を満喫するべく、積極的にお出かけしたいと思います！

入職した丸尾裕一

国水研の 研究室
NIMD Laboratory

所長特任補佐

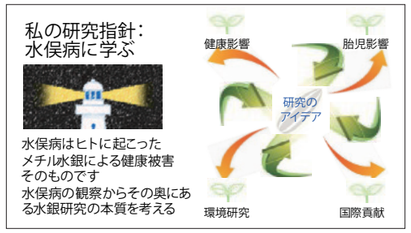
研究室の取り組み・目的

水俣病はヒトへのメチル水銀の健康影響そのもので、当時の熊本大学の努力で疫学・臨床・病理学的な貴重なエビデンスが得られました。水俣病を学び続けることで重要な研究課題も決めてきました。中でも胎児性水俣病患者の出生は、次世代を担う胎児の脳に強い影響を及ぼした象徴的な出来事でした。そこで、胎児がメチル水銀影響を強く受ける科学的背景を究明し、メチル水銀の毒性から胎児を守ることに繋がる研究を中心に今日まで行ってきました。

研究内容

水俣病発生当時試料の新規解析

水俣病の原因物質究明期に、発症ネコや患者の臓器に高濃度のセレンが検出されたことから、セレンが原因物質ではないかと疑われた時期がありました。セレンは必須元素で、メチル水銀の毒性を抑制することも知られています。そこで、当時の環境試料や患者臓器の新規解析とその結果を踏まえたラット実験を行うことで、メチル水銀防御に重要なセレンの役割を解明し、メチル水銀毒性の防御に繋げようと研究を行っています。



研究指針

国際貢献と依頼講義

国際貢献は当センターの重要な任務の一つです。世界保健機関（WHO）や国際協力機構（JICA）などの要請に応じて水銀汚染問題が発生した海外の現場へ赴き、環境や健康影響の評価を行うことで世界各国の水銀問題解決にも取り組みました。また、国内外の大学や学会、団体等から依頼を受けて、水俣病や各種水銀化合物の健康へ及ぼす影響やその予防対策に関する講義を行い、水銀の健康被害を未然に防ぐことに役立てるように努めています。

2019年9月 ベトナム・ハノイ市への緊急派遣時の様子

2018年2月 WHO-UNEP ワークショップ での講演の様子

環境保健研究室

環境・保健研究部

研究室の取り組み・目的

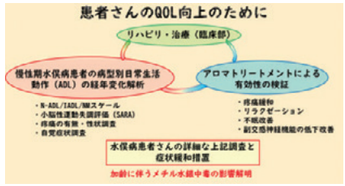
環境保健研究室では、水銀曝露のヒトにおける健康影響に関する環境保健学的研究と、動物を用いてのメチル水銀に対する防御機構などの生体反応に関する研究を進めています。これらの研究は、患者様や水銀中毒に悩む人々の生活の質（QOL）向上に繋げることを目指したものです。

水銀の曝露指標となる毛髪サンプリングの様子

研究内容

慢性期水俣病患者の病型別日常生活動作（ADL）の経年変化解析

水俣病の公式確認から66年が過ぎました。水俣病認定患者様や被害を受けた方々の高齢化に伴い、特に重症の胎児性患者においては加齢に伴う日常生活動作（ADL）の低下や、将来的な健康不安や生活不安は増大している現状があります。そこで私たちは、ADLの現状を詳細に調査することで、改善策の提案に繋げ、患者様や被害者の方々の生活の質（QOL）向上を目指しています。その一環として、患者様の神経性疼痛に対する緩和を目的にアロマトリートメントを実施しています。



患者さんの生活の質（QOL）向上を目指す取り組み

高濃度水銀蓄積動物種における水銀及び必須量元素の曝露実態と用量ー反応関係に関する研究

沖縄に生息する侵略的外来種
フイリマングース

フイリマングースは体内に高濃度の水銀を蓄積しながらも、特に体調不良を起こすことなく、日常生活を送っているユニークな生物です。その水銀蓄積に関する耐性機構を明らかにすることは、私たちヒトを含む哺乳類における水銀曝露に対する感受性という観点からも興味深い研究対象となります。そのフイリマングースを用いて、❶、❷に関する研究を進めています。

❶ 母親の水銀曝露による胎仔への移行
❷ 水銀高曝露による生体防御反応

NIMDトピックス その1

NIMD フォーラム2022

令和４年11月29日（火）、30日（水）

開催

令和４年11月29日（火）、30日（水）の２日間、水俣病情報センター講堂にて、NIMDフォーラム2022を開催しました。「メチル水銀中毒の未然防止を目指して」をテーマに、３年ぶりに国外からも専門家をお招きし、食品摂取等によるメチル水銀毒性の軽減効果、新しい実験技術によるメチル水銀毒性の解明といった多岐にわたる発表を受けて、活発な質疑応答がなされました。今回発表された研究内容は基礎研究の段階ですが、今後、これらの結果をメチル水銀中毒の未然防止に役立てていきたいと考えています。

発表に聞き入る多くの参加者

会場からは活発な質疑応答

国外からオンラインで発表した専門家も

NIMDトピックス その2

国立水俣病総合研究センター ホームページ全面リニューアル！

国立水俣病総合研究センターのホームページを3月中に全面リニューアルして公開します！
当センターの概要紹介のほか、活動の３本柱である、研究・地域貢献・国際貢献をトップページで分かりやすく取り上げています。新たなページも加え、ウェブアクセシビリティにも配慮しており、水銀に関する研究成果や水俣病の教訓、水銀分析技術の提供等を国内外へより一層積極的に情報発信していきます。3月下旬に公開予定であり、是非新たなホームページにアクセスください！